

てんがー新聞

12.12.No186
発行市岡日映
責任 0883-88-5292

いはいば 冬 突

東祖谷 三ヶ山
とせかりの冬景色



十一月半ばに霰が降り、未には雪も今うつつさ
いはいば冬に突入です。
一年が毎年早く過ぎ去るというよさつな気にな
ります。

東祖谷が大きな出来事は、びんといつても
小学校の統合でははいらうか。五校が廢
校となり、新たに東祖谷小、中学校として
四月にスタートしました。新しい校舎ばかり
びん、すべに新しい新にになり、十二月に
なつても、まだ体育館が使用出来はり状況で
子ども達にとつては、少々苦勞して今年であ
つたのでははいらうか。

落合地区では、新たに二棟の荒
草き屋根の民泊が、地域再生事
業でスタートしたのも今年です。
今の所、順調に泊り客があるそ
うですが、地成再生の起爆剤とば
るかは、まだまだびんとも言えま
せん。
明るい話題をさがすのに苦勞し
てしまう...と云う事は、とりもな
あさび、私自身が活動停止の
状況で、たゞ日々の中をばかりを
追いかけた十二月にはつてしまっ
た今年だったと云う事だと感
じています。
動く前に、動けない理由に目
が走つてしまひ、結果何もせび



に終つていりるのかも知れません。
とどかく、このままがいい訳はあ
りませんので、動け、と自分を
励まし続けていものびです。
動けば、次のステップが見えてく
るとおもふのが、寒さに負け、活
動したいとおもふ、年末まで
冬眠したい誘惑に負けそうが
すが、精神的だけでも、活発にな
るよう、心に涼巻をこなえる冬
にしたいのびです。

周囲には、グラスの材料はうばい
ゴロあり、ひかつかプラスに目
が向かない時ですが、せめて心の
中だけで、冬の寒さに負けな
い様に、ホットな材料を求め、
着るを避える準備をこいものび。

山の看板について

「山は誰の物でもない」と言
気ままに歩いてい、山好きの人
といいますが、山の看板について
天狗塚周辺が実態調査が里
市地元の人は遠ざかりました。
私達が設置した看板も若
を受け取りました。現実の
調査をし、関係者の皆さんが
集って対策を話しあう事に
なりました。誰の物でもない山は
人でありませんが、誰の物でもな
ぬ人が歩きはじめると、道が出来
てくるのです。自分土地を

